資料２－２

＜ 地域別再編案のモデル(イメージ) ＞

施設の基本情報				施設評価（事業評価と更新時期評価）											再編案							
				事業評価							更新時期評価				再編案　A-1				再編案　A-2			
				機能重複評価			利用度評価								短期（～2032）		中長期（2033～2052）		短期（～2032）		中長期（2033～2052）	
再編コンセプト分類	施設名称	圏域区分	建築年	3か年利用率平均%	利用率合計%	存続施設数	図書館、保健福祉施設		学校判定		評価手順に基づく方針	（右記施設以外）大規模改修時期	単いの家 児童館（建替時期）	学校（大規模改修、建替時期）	更新時期判定（2032年までが短期、2032年超が中長期）							
							貸出冊数（図書室）利用率（保健福祉施設）	判定（図書室）：中央値45冊/日（保健福祉施設）：平均値24%	学級数	判定（小…12"24級適正）（中…9"18級適正）		築40年	築60年	築30年&築55年…大規模改修築80年建替		方針	整備手法	方針	整備手法	方針	整備手法	方針	整備手法
①	○×コミュニティセンター	Ⅲ	1978年	60%	160%	2施設					2施設まで集約	2018年			短期	存続				存続			
①	△△公民館	Ⅲ	1980年	50%								2020年			短期	存続				集約	コミセンか農改センターへ		
①	◇◇農村環境改善センター	Ⅲ	1982年	30%								2022年			短期	集約	コミセンか公民館へ			存続			
①	××地区集会場	Ⅲ	1984年	20%								2024年			短期	機能移転③				機能移転③			
②	☆☆図書室	Ⅲ	1986年				40冊／日	中央値未満			廃止（譲渡，ソフト事業化）	2026年			短期	機能移転③				機能移転③			
③	◎◎体育館	Ⅲ	1988年								廃止（集約，機能移転）	2028年			短期	機能移転①				機能移転①			
③	□□ひまわりクラブ	Ⅲ	2010年								存続	2050年			中長期	複合化	□☆小へ			複合化	□☆小へ		
③	老人憩の家 ○☆荘	Ⅲ	1992年								廃止（機能移転）		2052年		中長期			機能移転①				機能移転①	
②	◇▽保健福祉センター	Ⅲ	1994年				20%	平均未満			廃止（複合化・多機能化）	2034年			中長期	複合化	コミセンへ					機能移転①	コミセンで機能確保
②	○△小学校	Ⅲ	1982年						6	小規模校	廃止（集約・複合化）			2037年	中長期	集約	□☆小へ			集約	□☆小へ		
②	□☆小学校	Ⅲ	1996年						14	適正規模校	存続			2026年	短期	存続				存続			
②	##中学校	Ⅲ	1970年						9	適正規模校	存続			2025年	短期	存続				存続			

【再編方針の用語定義】

方針	定義	方針	定義
存続	現在の施設でそのまま事業を存続すること	機能移転①	専用施設や条例は廃止となるが、他の公共施設でサービス機能の維持を図ること（多機能化）
集約	同一サービス機能の他の公共施設へ移転すること	機能移転②	サービス量の保持を前提に、既存民間施設への受け入れや民間施設誘致によりサービス機能の維持を図ること（サービス提供者の変更）
複合化	異なるサービス機能の他の公共施設へ移転すること	機能移転③	サービス提供方法の転換や施設の地域移管などによりサービス機能の維持を図ること（提供方法の変更）
用途変更	事業を廃止した施設（建物）を別の事業で利用すること	移転	事業を廃止した施設（建物）へ移転し、事業を存続すること